

平成 17 年 2 月 4 日

各位

日本ゼオン株式会社

平成 17 年 3 月期第 3 四半期業績につきまして、本日下記の内容で、東証に届け出を行いましたのでお知らせ申し上げます。



平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 17 年 2 月 4 日

上場会社名 日本ゼオン(株) (コード番号:4205 東大 1 部)
 (URL <http://www.zeon.co.jp/>)
 代表者 代表取締役社長 古河 直純
 問合せ先責任者 常務取締役 経営管理部長 三嶋 洋一 (TEL:(03) - 3216 - 1785)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容)減価償却の方法、法人税等の計上基準、等

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 (内容)有形固定資産の減価償却の方法は、従来、主として定額法によっておりましたが、当第 1 四半期より、主として定率法に変更しました。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 (内容)連結(新規)1社(除外)2社 持分法(新規)0社(除外)0社

2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期業績の概況(平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)金額は百万円未満を四捨五入しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	171,554	7.0	13,083	-	13,635	-	5,596	-
16年3月期第3四半期	160,385	4.7	-	-	-	-	-	-
(参考)16年3月期	213,297	1.1	17,897	38.3	13,712	40.0	4,588	50.4

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第3四半期	23.20	-	-	-
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	18.74	-	-	-

(注) 1. 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。
 2. 売上高以外の項目につきましては、当第 1 四半期より開示を行っているため、前年第 3 四半期実績及び対前年第 3 四半期増減率は記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期の売上高は、前年第 3 四半期と比較して 111 億 69 百万円、7.0%の増加となりました。エラストマー素材事業部門では、原料価格高騰という厳しい環境のもと、安定的な収益確保を目指して一層のコスト削減と、採算是正のための価格改定に努めました。合成ゴム関連では、汎用ゴムの国内販売がタイヤメーカーの好調な生産等に支えられ、売上高は前年同期を上回りました。また、化成品関連で、熱可塑性エラストマーSISの販売が輸出を中心に好調に推移致しました。

高機能材料事業部門では、高機能樹脂(シクロオレフィンポリマー)関連で、ゼオノアフィルムが大幅に売上を伸ばすと共に、カメラ付携帯電話やデジタルカメラ用プラスチックレンズ・プリズム等の需要も好調であった事から、「ゼオノア」、「ゼオネックス」両シリーズ共、売上高が前年同期を大幅に上回りました。情報材料関連では、主力の電子材料で、エッチング用ガス(ゼオローラZFL-58)が世界の大手半導体メーカーでの使用拡大が進み、売上高が前年同期を大幅に上回りました。

その他の事業においては、環境資材事業の営業譲渡などがあり、売上高は前年同期を下回りました。

尚、当社及び当社の米国100%子会社 Zeon Chemicals L.P.(米国：ケンタッキー州。以下ZCLP社)は、米国司法省より米国におけるNBR(アクリロニトリル・ブタジエン・ラバー)の競争制限取引の疑いで調査を受けておりましたが、平成17年1月12日(米国時間。日本時間1月13日)に、ZCLP社と米国司法省は、ZCLP社が連邦政府に対して10.5百万米ドル(約11億45百万円)を支払うことを内容とする司法取引に合意致しました。これに伴い、当該司法取引合意による罰金を、当第3四半期に特別損失として連結財務諸表に計上しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	247,353	75,536	30.5	313.36
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	222,254	71,575	32.2	295.47

(注) 財政状態の変動状況につきましては、当第1四半期より開示を行っているため、前年第3四半期実績は記載しておりません。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は、主に売上高の増加並びに当第3四半期末が休日であった事等から、前連結会計年度末に比べ250億99百万円増加し2,473億53百万円となりました。

株主資本は、主に純利益計上により、前連結会計年度末に比べ39億60百万円増加し755億36百万円となりました。

尚、平成16年5月17日に東京証券取引所 ToSTnet-2(終値取引)により、自己株式を1百万株(取得価額7億37百万円)取得いたしました。また、その他有価証券時価評価により、投資有価証券が前連結会計年度末に比べて6億21百万円、その他有価証券評価差額金3億88百万円それぞれ増加しております。

[参 考]

平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

通期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の連結業績は、平成17年1月13日発表時の予想と同額を見込んでおります。

お問合せ先

日本ゼオン株式会社
 広報室 八木沼
 Tel: 03 - 3216-2747
 Fax: 03 - 3216-0501
 E-mail: M.Yaginuma@zeon.co.jp

(添付資料)

1. 要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当四半期 (平成 17 年 3 月期 第 3 四半期末)	(参考) 平成 16 年 3 月期
	金 額	金 額
(資産の部)		
流動資産		
現預金	14,576	13,004
売上債権	54,758	42,701
棚卸資産	35,514	31,812
その他	24,391	18,210
流動資産合計	129,239	105,727
固定資産		
有形固定資産	77,846	75,724
無形固定資産	6,291	6,542
投資その他の資産	33,970	34,254
固定資産合計	118,107	116,520
繰延資産	7	7
資産合計	247,353	222,254
(負債の部)		
流動負債		
仕入債務	67,807	46,953
短期借入金	23,372	28,506
その他	44,672	33,265
流動負債合計	135,852	108,724
固定負債		
長期借入金	16,116	17,752
その他	17,667	22,244
固定負債合計	33,784	39,996
負債合計	169,635	148,720
(少数株主持分)		
少数株主持分	2,181	1,959
(資本の部)		
資本合計	75,536	71,575
負債、少数株主持分及び資本合計	247,353	222,254

2. 要約連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当四半期 (平成 17 年 3 月期 第 3 四半期)	(参考) 平成 16 年 3 月期
	金 額	金 額
売上高	171,554	213,297
売上原価	127,468	153,987
売上総利益	44,087	59,310
販売費及び一般管理費	31,003	41,413
営業利益	13,083	17,897
営業外収益	2,002	1,608
受取利息・配当金	812	637
その他	1,190	971
営業外費用	1,450	5,793
支払利息	583	1,072
その他	867	4,721
経常利益	13,635	13,712
特別利益	16	186
特別損失	3,228	7,733
税金等調整前四半期(当期)純利益	10,423	6,165
税金費用	4,574	1,361
少数株主利益	253	216
四半期(当期)純利益	5,596	4,588